

社会科（5年）「つながる！？森林とわたしたち」

単元目標

- 森林の働きや国民生活との関連について、調査したり資料で調べたりしたことをまとめ、森林が様々な人々の工夫や努力によって、国土の保全などに重要な役割を果たしていることを理解している。
- 森林資源の分布や森林の働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源の果たす役割や自分たちの生活との関わりについて考え、表現している。
- 森林の役割や人々の工夫や努力について、主体的に問題解決しようとしたり、自分たちにできることや何が大切なのかを考えたり選択・判断したりする中で、よりよい社会を考え、社会生活に生かそうとしている。

全 12 時間
(プロジェクトタイプ×スパイラル型)

子どもの姿と支え方

Collaboration (第4～9時)

多様な事象とかかわり、価値観を広げながら追究を進め、成果を表現することができるように、GTとかかわりながら追究する場や、友達と協働して追究したり表現したりする場を設ける。

Choice (第3時)

子どもが主体的に追究できる学習計画を立案できるように、子どもの思考を揺さぶる発問や資料提示を行いつつ、問いや予想をまとめる場を設定する。

出会い

第1時：〈社会的事象との出会い〉なぜ、木を扱うことが大切にされているのだろう。(GT とのつながり①)

今の子どもの姿

子どもたちは、「わたしたちのくらしと食料生産」の学習において、日本の農業や水産業について追究し、国土の気候や自然環境などを生かしながら営まれていることに気づき、日本の1次産業への理解を深めた。追究を重ねていく中で、それぞれの産業に、高齢化や担い手の減少、消費者の食文化の変化等の様々な課題があることにも気付いた。日本の産業の今後や、われわれの未来を考えることや、様々な立場から多角的な視点で考え、社会の諸問題と向き合うことが重要となってくるということに目を向けている子どもも現れてきている。しかし、今はまだ、それらの課題に対して、どこか遠くの出来事のように考えている子どもが多い。さらに切実感をもって社会の課題と向き合い、よりよい社会の在り方を考える子どもたちを育ててきたい。

「学びに向かう力」が涵養されている姿

森林資源の重要性について理解し、森林にかかわる人々の努力する姿から、森林に対して、今、これから、できることを考え、森林と関わろうとする姿。

Check (第12時)

森林と自分たちのかかわりについてさらに深く考えていこうとすることができるように、社会科日記で単元の学びを振り返る。「森林・林業とぼく・わたし」

振り返り

第12時：〈個なりのまとめ・本質的把握〉学習問題の答えは？(GT とのつながり④)

第10・11時(本時:第11時)：〈練り合い高め合い〉森林と私たちのかかわりは、どのようなものなのだろう。私たちにできることはどんなことだろう。(GT とのつながり③)

第9時：〈個や小集団による追究〉森林の役割とは？森林に関わる仕事の様子とは？～報告会～

追究

第4～8時：〈個や小集団による追究〉森林にはどのような役割があり、だれが、どのような仕事をしているのだろう。
森林の役割は？ 木の活用法とは？
森林と関わる仕事とは？ どんな課題があるの？
(GT とのつながり②)

第3時：〈予想設定・学習計画の立案〉何を、どうやって調べればよいだろう。

第2時：〈学習問題の設定〉森林にはどのような役割があり、だれが、どのような仕事をしているのだろう。わたしたちとどのようにかかわっているのだろう。

Creativity (第10時)

事象の意味を捉え直したり、新たな価値を見いだしたりできるように、これまでの学びを振り返り、話し合う場を設ける。

Critical Thinking (第2・11時)

自らの認識を問い直しながら、強い問題意識を持って学習を進めることができるように、問い返しや資料の提示を行う。また、GTの考えを聞いたり、自分たちの考えについて意見をもらったりする場を設定し、話し合いが充実するようコーディネートする。

Challenge (第1時)

問いや課題を主体的に見いだすことができるように、森林・木材が様々な用途で使われていることが分かる資料の提示を行う。

単元構想の意義

森林は、日本の国土の保全にとってなくてはならない存在であり、日本には全国に広大な森林が広がっている。その広大さこそが、森林資源を守り、育てるために働く様々な人々にとっての課題ともなっている。また、林業従事者の減少、山林の保有者の高齢化が深刻になっている現在、手入れが行き届かない放置林も多くなっている。そのような課題の解決のために、木材の需要の拡大や今後の森林の保全に向けた施策を打ち出している事例もある。それでも、植栽した木が、木材として利用されるようになるまで育つには、50年もの年月がかかってしまう。様々な課題を抱える森林であるが、その課題の解決の取り組みの結果が目に見えるまでには、途方もない年月がかかるのである。さらに、子どもたちにとって、毎日のように関わり、目に見える部分の多い食料などとは違い、森林はその必要性を身近に捉えることは難しい。時間的な距離感、心的な距離感の遠さが、子どもたちが森林について学んでいく上の「ややこしさ」となっているといえる。それでも、体験的な活動やGTとの関わり場を設けつつ、森林の保全に関わる人々の営みや悩みなど、目に見えない部分へと追究を深めていくことで、自分たちと森林のかかわり方について、切実感をもって考えていくことができるようになっていくであろう。そして、「森林はわれわれにとって必要不可欠なものだ。」「これからは森林と関わっていききたい」といった思いをより具体的なものとし、よりよい社会の在り方を様々な角度から捉えようとする態度が育つ単元としていきたい。

本時の授業 (11/12)

- 1 日時 令和6年11月12日(火) 14:05~14:50
- 2 場所 5年花組教室
- 3 目標 森林に対して自分たちにできることを考え、話し合うことを通して、森林環境の保全の意義や、森林とのかかわり方を捉え直し、表現する。

本時における「学びに向かう力」が涵養されている姿

- 森林とのかかわり方について話し合う中で、様々な意見を踏まえ、問い直しながら考え抜き、自分なりの考えにたどり着こうとしている姿。
- これまでに学習したことを基に、自分の意見を明確にしつつ、友達やGTの考えを受け止め、森林とのかかわり方を考えようとしている姿。

学習活動	1 これまでの学習を振り返る。	2 森林資源の保全のためにできることを考え、話し合う。	3 本時を振り返る。	場面	単元の評価規準
<p>予想される子どもの意識の流れ</p>	<p>森林の役割はたくさんあったね。例えば土砂災害を防ぐ役割もあって、私たちとも関わりが深いと感じたよ。</p> <p>林業の仕事や、森林を管理する仕事などがあったね。技術の進化もあったけど、大変そうだったよ。</p> <p>自分たちも何もしないままではいけないと感じたよ。できることはどんなことだろう。</p>	<p>豊かな森林を守るために、自分たちにできることはどんなことだろう。</p> <p>林業教室でつくった箸、すてきなものができたよ。もっと使っていきたい。</p> <p>将来国産の木を使った家に住んでみたい。</p> <p>もっと森林とのかかわっていききたいな。体験イベントなどに参加してみたい。</p> <p>木を植えるボランティアに参加したいな。</p> <p>森林の働きを守ることは将来も必要だよ。</p> <p>木には木ならではのよさがあったよ。</p> <p>木材の価格が下がってしまうと、林業を続けることが難しくなるから、積極的に使わないといけなと思う。</p> <p>正直、将来林業や森林にかかわるのはしんどくて大変そうだ。</p> <p>森林ってとても広いよ。ぼくらの行動で何か変わるのかなあ？</p> <p>木は育つのに何十年もかかるよ。森林はすぐにはつukれないよ。</p>	<p>森林は、そこに関わるたくさんの人々の仕事があって守られている。直接かかわることは難しいし、今できることも限られているのかもかもしれない。それでも、森林を活用し、森林を守ることに協力しようとしていくことが大切だと思う。</p> <p>森林や木材にしかないよさがあったよ。もっと積極的に森林にかかわったり、日本の木材を利用することを考えていきたいな。</p>	<p>出合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森林の働きや森林・木材の機能、森林資源の分布などに着目して、森林の役割や森林に関わる仕事、自分たちとのかかわりについて、問いを見いだしている。【思考・判断・表現】 ● 森林の役割や森林に関わる仕事、自分たちとのかかわりについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しを持つようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 <p>追究</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 調べたことや体験したことを整理し、資料にまとめることができている。【知識・技能】 ● 森林資源が果たす役割や、自分たちの生活とのかかわりについて考え、表現している。【思考・判断・表現】 ● 学習したことを関連付けながら、森林環境の保全のために自分たちができることを考え、表現している。【思考・判断・表現】 <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森林は、国土の保全に重要な役割を果たしていることや、その育成や管理などに関わる人々の様々な努力があって整えられていることを理解している。【知識・技能】 ● 学習したことを基に、森林環境の今後の在り方や森林とのかかわり方を主体的に考えている。【主体的に学習に取り組む態度】 	
<p>指導 (○) と 評価 (●)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学習を振り返ったり、子どもの課題意識についての価値付けをGTと行ったりすることで、本時の学習への見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが自分にできることの意義を問い直しながら話し合いを進めることができるように問い返しを行う。GTの考えを聞いたり、自分たちの考えについて意見をもらったりする場を設定し、話し合いが充実するようコーディネートする。 ○ 子どもたちが様々な視点で話し合うことができるように、資料の提示を行う。 <p>Critical Thinking</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 追究の成果や森林と自分たちとのかかわりを根拠にした話し合いができるよう、学習環境を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会科日記のテーマ設定を工夫し、これまでの学びの成果や今後の自分への思いが表れるようにする。 ● 学習したことを関連付けながら、森林の保全のためにできることを考え、表現している。【発表・社会科日記】 		